

支援の炊き出し再開

甲府でNPO 3年ぶり

NPO法人やまなしライフサポート(中山八十司理事長)の炊き出しが6日、甲府市中央2丁目の甲府カトリック教

会で行われた。新型コロナウイルス禍で2020年5月から休止しており、3年ぶりの再開。約40人が集い、近況を話したり、おかわりをしたりして食事を楽しんだ。

同法人はリーマン・ショックが起きた08年から、毎週木曜日に同所で炊き出しを実施。食料支援にとどまらず、孤立を防ぐ居場所としても運営されてきた。コロナ禍で休止後は、食料を配布する形式に切り替えていた。3年ぶりの再開となり、中

山理事長が「3年間の食料配布でつながりは途切れず、同じ机を囲んで食事をする機会がようやく戻ってきた。交流を深めながら、食事を楽しんでほしい」とあいさつ。山梨市の農家や甲府市の米店から寄付された野菜や米を使い、調理ボランティアがカレーとみそ汁を振る舞った。10年以上前から炊き出しを

利用している甲府市の男性(57)は「物価高もあり、生活費を切り詰めても食事ができないときもある。久しぶりの炊き出しで、おいしい食事を提供してもらいありがたかった」と表情をゆるめた。炊き出しは今後、毎月第1木曜日に開催し、炊き出しのない木曜日は食料配布を実施する。

〈戸松優〉



3年ぶりに再開した炊き出しで食事をする参加者。甲府市中央2丁目